

# 普及だより

●編集発行

大隅地域振興局農林水産部農政普及課  
肝属地域農業改良普及事業協議会  
ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/chiiki/osumi/index.html>

鹿屋市打馬2丁目16-6  
TEL: 0994-52-2146  
FAX: 0994-52-2147

## < 新年明けましておめでとうございます >

◎肝属地域農業改良普及事業協議会会長（鹿屋市長：中西 茂）

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、平年の2～3倍という記録的な大雨に見舞われ、災害や農作物被害など、地域農業にとりましては、厳しい一年となりました。

また、TPP協定に関する交渉が大筋合意に達し、海外へのチャンスが広がると同時に、今後の農業をはじめ地域産業に与える影響が危惧されるところでもあります。

このような中ではありますが、本地域においては、昨年4月に大隅加工技術研究センターが開設され、農産物の加工・流通技術の研究・開発や加工品の試作等が身近で気軽に挑戦できるようになりました。

また、ピーマンをはじめとした施設園芸作物や子牛の価格の安定、中間管理事業を活用した農地の集積、青年就農者の確保が図られるなど、少しずつではありますが、関係者の皆様との取組の成果が見え始めています。本年も、当協議会は、引き続き、関係機関・団体と緊密な連携を図りながら、地域農業・農村の発展に尽力してまいります。

結びに、皆様の御多幸と本年が肝属地域の農業・農村の更なる飛躍の一年となりますよう心より祈念申し上げます。



◎大隅地域振興局農林水産部農政普及課長（杉山 昇）

皆様におかれましては、新しい抱負を胸に輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年、私達の農業・農村を取り巻く環境は、TPP協定交渉をはじめとする国内外の情勢等、日々大きく変化しています。

そのような中で、農業生産性の向上や経営安定、肝属地域の次世代を担う若手農業者の育成、安心・安全な農産物づくり、各品目における新技術導入や加工などの高付加価値化、地域農業の持続的発展のための営農システムづくり、鳥獣害対策など、私達が取り組むべき課題は、たくさんあります。

肝属地域では、昨年、大隅加工技術研究センターが開設されるとともに、肝属中部地区畑かん事業において平成28年度の一部通水開始に向けて工事が進むなど、新食料供給基地大隅の形成に向けたプロジェクトが着々と進行しています。

今年も、農政普及課は、皆様方と一体となって、様々な課題を解決するために、精一杯取り組んで参ります。肝属地域の農業・農村の明るい未来を一緒に築いていきましょう。

最後に、皆様方のご健康とご多幸を祈念し、今年が、肝属地域の農業にとりまして、素晴らしい一年になりますよう心からお祈りいたします。



## <大隅地域のおもてなし料理の開発と情報発信!!>

### ～高校生による料理コンクールを開催～

大隅地域は、国内有数の食料供給基地として、県内でも上位のシェアを誇る農畜産物が多数あり、県内外に様々な優良農林水産物を供給しています。しかし、これらを食材として使用した「大隅地域の特産料理」のメニュー数は少なく“地元ならではの”「おもてなし料理」の開発・提供に至っていない現状もあります。このため、振興局では関係者の協力のもと、大隅でしか味わえない「大隅地域のおもてなし料理」の開発・PRを展開し、観光や飲食業と連携した「大隅の食」の情報発信を図る計画です。

#### 大隅の食材を使った高校生料理コンクールを開催しました！

開発に向けての第一弾として、大隅地域の高校生に呼びかけ、豚肉に地元産のごぼうやピーマンを組み合わせた創作料理の募集を行い、**6高校から208点の応募**がありました。書類審査で選出された4校10点について、10月17日（土）に鹿屋中央高等学校で実技審査を実施し、入賞者を決定しました。



<開会式>



<実技風景>



<審査員による審査>



<審査結果の発表>



<表彰式>



<受賞した高校生>

**入賞者は以下のとおり**

- |           |          |                             |
|-----------|----------|-----------------------------|
| 大隅地域振興局長賞 | 鹿屋中央高等学校 | 桑畑愛麗さん「ごぼうたっぷりハンバーグ」        |
| 農林水産部長賞   | 鹿屋女子高等学校 | 白坂美里さん「肉みそピーマンカリカリ巾着袋」      |
| 農林水産部長賞   | 鹿屋中央高等学校 | 田中菜桜さん「さつまいもとごぼうのほくほくコロッケ」  |
| 審査員特別賞    | 垂水高等学校   | 中島竜也さん「ごぼうさくさくスコッチエッグ」      |
| 優良賞       | 鹿屋女子高等学校 | 宮瀬 梓さん「ヘルシーブタコロ」            |
| 優良賞       | 鹿屋女子高等学校 | 山口朱音さん「ごぼう衣のキャベキャロ揚げ」       |
| 優良賞       | 鹿屋高等学校   | 下西美温さん「ごぼうの肉巻き～カレー風味～」      |
| 優良賞       | 垂水高等学校   | 磯野瑞希さん「ごぼう入り豚みそ」            |
| 優良賞       | 鹿屋中央高等学校 | 飯ヶ谷ありささん「味付けいらすのちょーかんたん肉巻き」 |
| 優良賞       | 鹿屋中央高等学校 | 永谷美優さん「豚ごぼめん」               |



**大隅地域振興局長賞**  
ごぼうたっぷりハンバーグ

**農林水産部長賞**  
肉みそピーマンカリカリ  
巾着袋

**農林水産部長賞**  
さつまいもとごぼうの  
ほくほくコロッケ

**審査員特別賞**  
ごぼうさくさくスコッチ  
エッグ

**大隅の「おもてなし御膳」の求評会及び大隅地域の食材を活用した料理試食会の開催**

第2弾として平成28年2月に、ホテルや飲食店等と連携し、大隅地域の豊富な食材を活用した料理の求評会や試食会の開催を予定しています。

今後、高校生料理コンクールで創作されたレシピや、求評会等で開発された料理は広く「大隅地域のおもてなし料理」としてPRや情報発信を行い、地元の皆さんをはじめ、観光客等にも食べて頂けるよう、観光関係者や飲食業と連携し、「大隅の食」の普及に努めていく予定です。

## <県茶品評会深蒸し煎茶の部で上位独占>

### ~鹿屋市が8年連続産地賞&農林水産大臣賞を受賞!~

11月14日、かごしま県民交流センターで、県茶業振興大会(かごしまお茶まつり鹿児島大会)が開催されました。

式典では、県茶品評会の表彰があり、深蒸し煎茶の部において、**鹿屋市の岩元道弘氏(岩元園)**が、**農林水産大臣賞**を受賞し、**鹿屋市が、8年連続となる産地賞(団体1位)**を受賞しました。

昨年、鹿屋市銘茶研究会として再発足し、茶園づくりや製造等の研修会を重ねた成果が出て、生産者や関係機関一同、歓喜に包まれました。

また、**平成29年度には、肝属地区での県茶業振興大会開催が予定**され、出品茶園づくりやイベントについての話し合い活動等を始めており、生産者と関係機関一体となって取り組んでいきます。



<式典風景>



<農林水産大臣賞受賞の岩元氏>



<産地賞受賞の鹿屋市>

## <ホルスタイン共進会 肝属地域の酪農 大躍進>

### ~県大会団体優勝 全国へ~

平成27年9月28日に、鹿児島県ホルスタイン共進会が始良中央家畜市場で開催されました。管内からは20頭が出品し、8部門中**6部門で最優秀賞1席**を獲得、**団体賞でも5連覇**を達成しました。また、**未經産牛、経産牛の両部門においても農林水産大臣賞、九州農政局賞**を獲得しました。



会場

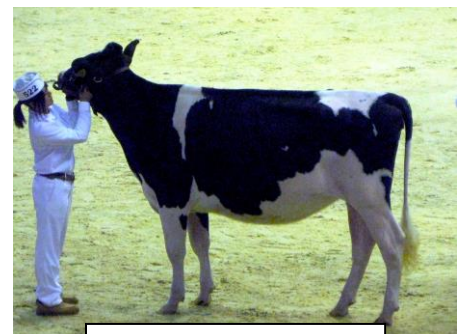
さらに、10月23日から26日には、10年ぶりに北海道で第14回全国ホルスタイン共進会が開催され、ホルスタイン種349頭、ジャージー種31頭の出品があり、レベルの高い戦いが繰り広げられました。

鹿児島県からは、8頭、うち管内からは、6頭が出品され、**鹿屋農業高等学校の牛1頭が、優等賞6席**を受賞したほか、1等賞に4頭が入賞するなど好成績を収めることができました。



審査の様子

鹿児島県が優等賞に入賞したのは、昭和45年の第5回大会以来**45年ぶり**となる快挙で、鹿児島県の出品者及び関係者が大いに沸く結果となりました。



第5部 優等賞6席

# 知って**得**する! 技術情報!! ～経営編～

## < 農業経営の法人化を考えよう! >

農業経営の担い手は、個人経営が大半を占めていますが、鹿児島県内においては、経営の大規模化や雇用者の増加、所得の向上に合わせて、法人化を図る経営が増加しています。

そこで、農業経営の法人化によるメリットや法人設立に向けた支援策を紹介します。

### 1 法人化のメリット

#### (1) 経営体としての継続性の確保

個人であるAさんと、Aさんが行う農業経営を切り離すことができます。法人では、経営者がAさんからBさんに替わっても、法人としての農業経営は継続されます。

#### (2) 経営管理能力の向上

複式簿記が義務化されるとともに、法人の利益は法人所得と役員報酬に分けられ、家計と経営の分離が徹底されることで、ドンブリ勘定から脱却します。

#### (3) 対外信用力の向上

一般に法人の方が個人よりも信用が増します。当然ながら金融機関からの融資では、経営実績や資産の状況も含めて審査されることとなります。

#### (4) 労働環境の改善

法人においては、労働保険や社会保険の加入が義務づけられ、役員や従業員の福利厚生が充実します。10人以上が常時従事する法人では、就業規則の整備と届け出が必要となります。

#### (5) 雇用の確保

労働環境が整備されることなどを通じて、外部人材の確保が容易になります。

#### (6) 節税効果

一定以上の所得があれば、所得税と法人税の税率の違いや所得の分散（役員報酬からさらに給与所得控除が差し引けることなど）により、税負担が軽減される場合があります。

### 2 法人化のデメリット

#### (1) 間接経費の増加

法人経営では、会計や税務・労務管理の事務負担の増加や税理士等への業務委託費が増加し、社会保険等の会社負担も発生します。農業生産が赤字でも、これらの費用負担があります。

#### (2) 人間関係の調整

法人は人の集合体なので、役員や従業員との間で調整を図り、方針の決定を行う必要があります。

### 3 農業法人の設立に向けた各種支援について

#### (1) 「かごしま農業法人塾」の開催（県事業）

法人化の意義と設立手続きや税務・労務管理、先進事例の講演及び個別相談会の実施

#### (2) 農業経営スペシャリストによる法人設立支援（県事業）

行政書士や税理士などを個別に派遣し、法人設立を支援

#### (3) 農業経営継承円滑化支援事業（国事業）

円滑な経営継承に向けた法人の設立などを検討するため、税理士や中小企業診断士等を派遣

※留意事項：施策の活用にはそれぞれに別途、申込みが必要となりますので、当課にご相談ください。

# 知って**得**する!技術情報!!～野菜編～

## ＜さといも疫病対策について＞

昨年は、梅雨前後における降水量が例年の2倍近くと異常な気象条件でした。このため、各作物において湿害や病害の発生等がみられました。特にさといもでは、近年発生がほとんどみられなかった**さといも疫病が県内一円で多発**しました。大隅地域振興局管内のさといもほ場でも、疫病による茎葉の枯れ症状がみられ、さといもの単収が大幅に減収しました。このさといも疫病の防除対策としては、現状では予防的防除が中心となっています。そこで、以下にさといも疫病対策をご紹介しますので、本年度の作付けに向けて参考にしてください。

### 1 さといも疫病の特徴

- (1) 葉、葉柄、イモに発生する。はじめ葉に円形または楕円形の黄褐色斑点を生じ、次第に病斑が拡大して、**褐色の同心輪紋の大きな病斑**が生じます(写真)。病斑は腐敗して、葉脈のみが残った破れ傘状態になります。さらに病状が進むと葉柄も侵され、下垂れして黒変します。症状が著しい場合は、イモにまで腐敗がおよぶことがあります。
- (2) **夏期温暖で多雨の時に発生しやすい**特徴がある病害で、降雨時の水滴とともに伝染します。またさといも疫病の病原菌は親いもの残渣等で生育し越冬します。



### 2 さといも疫病対策

- (1) 連作の回避：疫病が発生したほ場での連作や、疫病発生ほ場に隣接したほ場での作付けは避けましょう。
- (2) 排水対策の徹底：排水の良いほ場を選定し、排水溝を設置する等の排水対策を行いましょう。
- (3) 消毒前選別徹底：種いもの消毒前に、再度疫病の発病したものがないか確認して発病した種いものは除去しましょう。
- (4) 種子消毒：ほ場への病害虫の持ち込みを防止するため、トップジンM水和剤(200～500倍)とパダンSG水溶剤(300倍)の混合液で30分浸漬しましょう。
- (5) 防除用通路設置：さといもは、茎葉が大きくなると、ほ場に入っただけの防除がしにくくなり、薬剤散布のムラが出る可能性があるため、あらかじめ、さといもの植え付けの際に、防除のための通路を確保しておくことが望ましいです。
- (6) 予防防除の徹底：梅雨入り前等、湿度や温度が高くなり、疫病の発病が予想される時期には、ジーファイン水和剤(1,000倍)を7日おきに、さといも株にまんべんなく散布し、予防的防除に努めましょう。
- (7) 残渣の処理：親いもや葉などの残渣は、ほ場から持ち出して別場所に埋める、またはほ場にすき込む場合は、ロータリーを複数回以上行ったうえで石灰窒素等による腐熟促進を図りましょう。

種いもを自家採取する場合は、収穫後に十分な風乾を実施して、さといも表面を乾燥させるとともに、腐敗が入りやすい芽やキズを確認し、腐敗したイモは確実に除きましょう。

# 知って**得**する! 技術情報!! ～果樹編～

## <ミシン糸で簡易なヒヨドリ対策!>

昨年度はヒヨドリの飛来が多く、鳥害被害が多く発生しました。心を込めて作った果実をヒヨドリ等の鳥類から守るために、三重県農業研究所にて開発された食害防止技術をご紹介します。

※この方法は、簡易に**被害を軽減**できるもので、完全に防げるものではありません。

### 準備するもの

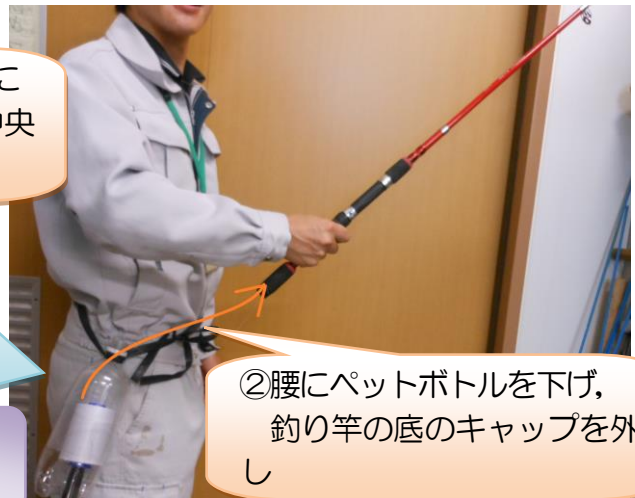
- 釣り竿
- ミシン糸 (ポリエステル製 5,000m巻き90番または60番)
- 糸入れ (1.5Lペットボトルを利用)

釣り竿の長さは2m程が使いやすいです。



①太いマジック等を糸の芯にして、ペットボトルの中央を

芯を入れて糸が回転することで、糸が出やすくなります。



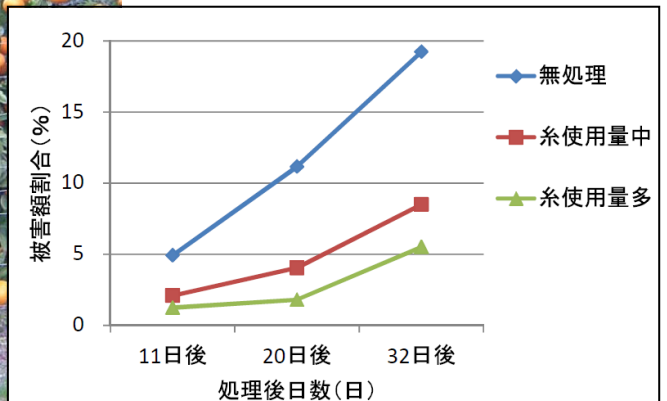
②腰にペットボトルを下げ、釣り竿の底のキャップを外し



釣り竿の先端から出した糸を樹に結び、竿を上下左右に振って糸を引っかけながら張り

糸の量が多いほど被害は少ないです  
ヒヨドリの飛来数に応じて調節しま

糸の除去は、厚手の手袋等をつけて引っ張ると



(平成25年度三重県農業研究所成果情報より)

糸を張らなかつた園に被害が集中することがありますので、鳥獣害対策は地域ぐるみで行いましょう。

# <平成27年度 肝属地区青年農業者会議を開催！>

## ～意見発表・プロジェクト活動発表～

肝属地区農業青年クラブ連絡協議会では、平成27年10月20日に地区年青年農業者会議を開催し、青年農業者をはじめ指導農業士など71人の出席のもと、プロジェクト発表の部3課題、意見発表の部5課題の発表があり、素晴らしい発表の連続でした。

### 【プロジェクト発表の部】

発表者氏名	所属クラブ名	発表課題
新村 祐太	肝付町ほよし耕心会	細霧装置による疾病予防（肉用牛）
貫見 欣司	翔南倶楽部	きのこ栽培の雑菌対策（えのき）
城下 賢治	翔南倶楽部	適正防除推進による散布回数削減とその効果（茶）



プロジェクト発表の部では、3人が日頃実践している技術や経営の課題解決活動やその成果について発表を行いました。

最優秀賞の翔南倶楽部・貫見欣司さんは、えのき栽培における雑菌の侵入ルートの調査やその原因を探り、雑菌侵入防止対策について取り組み、廃棄処分量が大幅に減少し、そのことで損失額が削減でき、さらには作業効率等が上がった等の成果を報告しました。

### 【意見発表の部】

発表者氏名	所属クラブ名	発表課題
池田 恭志	肝付町ほよし耕心会	行動あるのみ
上倉 翔太	東串良町4Hクラブ	私が農業を始めたきっかけ、そして夢
南 雄輝	串良町4Hクラブ	生涯“農”での生活をめざして
内木場 裕也	鹿屋農業青年クラブ	出会いの中で生まれた私の農業、そして未来へ
池田 光星	翔南倶楽部	我が家を継いで



意見発表の部では、5人が就農のきっかけや農業経営への考え方、将来の目標や夢、農業に対する思いについて発表を行いました。

最優秀賞の鹿屋農業青年クラブ・内木場裕也さんは、小さい頃に花屋で見かけたあじさいの鉢植えに一目惚れしたことがきっかけで、花などの緑とふれあう楽しさを知り就農、次の世代に農業の楽しさを伝えていきたいと熱く語りかけました。

今年度は、県青年農業者会議が肝属地区（鹿屋市）で2月に開催されます。そこで、本年度は地区代表として、プロジェクト発表の部に最優秀賞の貫見欣司さんと城下賢治さん、意見発表の部に最優秀賞の内木場裕也さんと上倉翔太さん、それぞれ2人ずつ選出され、県大会で発表します。

**めざせ！九州大会&全国大会！**



発表した青年たち8人です！  
（左から 貫見氏、城下氏、内木場氏、上倉氏、新村氏、池田恭志氏、南氏、池田光星氏）